

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公開番号】特開2006-165650(P2006-165650A)

【公開日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2006-024

【出願番号】特願2004-349739(P2004-349739)

【国際特許分類】

H 04 N 7/173 (2006.01)

G 06 F 12/00 (2006.01)

G 06 F 21/24 (2006.01)

H 04 N 5/765 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/173 6 4 0 Z

H 04 N 7/173 6 1 0 Z

G 06 F 12/00 5 2 0 E

G 06 F 12/14 5 2 0 C

H 04 N 5/91 L

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月26日(2007.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ネットワークを介してマルチメディアコンテンツを端末に提供する U P n P - A V アーキテクチャに準拠したメタデータ管理装置であって、

前記マルチメディアコンテンツの属性情報に対する編集が許可されているか否かを示す編集可能性情報の一覧を含む一覧情報を記憶手段から読み出す一覧読出手段と、

前記一覧読出手段により読み出された前記一覧情報を、前記ネットワークを介して前記端末に C D S : B r o w s e レスポンスとして送信する一覧出力手段とを備える

ことを特徴とするメタデータ管理装置。

【請求項2】

前記一覧読出手段は、前記マルチメディアコンテンツ一覧と、各当該マルチメディアコンテンツの属性情報と、各当該マルチメディアコンテンツの属性情報に対する前記編集可能性情報とを対応付けた情報を含む D I D L L I T E 形式で記述された前記一覧情報を記憶手段から読み出す

ことを特徴とする請求項1記載のメタデータ管理装置。

【請求項3】

前記メタデータ管理装置は、さらに、前記端末から送信される、ユーザにより編集された属性情報を C D S : U p d a t e O b j e c t リクエストとして受信する編集要求受信手段と、

前記一覧読出手段により読み出された前記一覧情報のうち、前記編集要求受信手段が受信した前記編集された属性情報に対する前記編集可能性情報を参照することにより、受信した前記属性情報の編集の許否を判断する編集判断手段と、

前記編集判断手段により編集が許可されていると判断された場合に、前記編集要求受信

手段が受信した前記編集された属性情報に、対応する前記属性情報を更新するとともに、前記端末に編集の成功を C D S : U p d a t e O b j e c t レスポンスとして通知するメタデータ編集処理手段とを備える

ことを特徴とする請求項 2 記載のメタデータ管理装置。

【請求項 4】

前記メタデータ編集処理手段は、さらに、前記編集判断手段により編集が禁止されないと判断された場合に、前記端末に編集の失敗を C D S : U p d a t e O b j e c t レスポンスとして通知する

ことを特徴とする請求項 3 記載のメタデータ管理装置。

【請求項 5】

ネットワークを介してマルチメディアコンテンツをサーバから取得するメタデータ利用装置であって、

D I D L L I T E 形式で記述され、前記マルチメディアコンテンツの属性情報に対する編集が許可されているか否かを示す編集可能性情報の一覧を、ネットワークを介して C D S : B r o w s e リクエストを発行して C D S : B r o w s e レスポンスとして取得する一覧取得手段を備える

ことを特徴とするメタデータ利用装置。

【請求項 6】

前記一覧取得手段は、前記マルチメディアコンテンツ一覧と、各当該マルチメディアコンテンツの属性情報と、各当該マルチメディアコンテンツの前記編集可能性情報とを対応付けた前記一覧情報を前記サーバから C D S : B r o w s e リクエストを発行して C D S : B r o w s e レスポンスとして取得し、

前記メタデータ利用装置は、さらに、前記一覧取得手段により取得された前記一覧情報を参照することにより、編集が許可されている属性情報をある編集可能属性情報を抽出する編集可能属性抽出手段を備える

ことを特徴とする請求項 5 記載のメタデータ利用装置。

【請求項 7】

ネットワークを介してマルチメディアコンテンツを端末に対してコンピュータにより提供する U P n P - A V アーキテクチャに準拠したメタデータ管理方法であって、

前記マルチメディアコンテンツの属性情報に対する編集が許可されているか否かを示す編集可能性情報の一覧を含む一覧情報を記憶部から読み出す一覧読み出ステップと、

前記一覧読み出ステップにおいて読み出された前記一覧情報を、前記ネットワークを介して前記端末に C D S : B r o w s e レスポンスとして送信する一覧送出力ステップとを含む

ことを特徴とするメタデータ管理方法。

【請求項 8】

ネットワークを介してマルチメディアコンテンツをサーバからコンピュータにより取得するメタデータ利用方法であって、

D I D L L I T E 形式で記述され、前記マルチメディアコンテンツの属性情報に対する編集が許可されているか否かを示す編集可能情報の一覧を、ネットワークを介して C D S : B r o w s e リクエストを発行して C D S : B r o w s e レスポンスとして取得する一覧取得ステップを含む

ことを特徴とするメタデータ利用方法。

【請求項 9】

ネットワークを介してマルチメディアコンテンツを端末に対して提供する U P n P - A V アーキテクチャに準拠したメタデータ管理プログラムであって、

前記マルチメディアコンテンツの属性情報に対する編集が許可されているか否かを示す編集可能性情報の一覧を含む一覧情報を記憶部から読み出す一覧読み出ステップと、

前記一覧読み出ステップにおいて読み出された前記一覧情報を、前記ネットワークを介して前記端末に C D S : B r o w s e レスポンスとして送信する一覧送出力ステップをコンピュータに実行させる

ことを特徴とするメタデータ管理プログラム。

【請求項 10】

ネットワークを介してマルチメディアコンテンツをサーバからコンピュータにより取得するメタデータ利用プログラムであって、

DIDL_LITE形式で記述され、前記マルチメディアコンテンツの属性情報に対する編集が許可されているか否かを示す編集可能情報の一覧を、ネットワークを介してCDS：Browseリクエストを発行してCDS：Browseレスポンスとして取得する一覧取得ステップをコンピュータに実行させる

ことを特徴とするメタデータ利用プログラム。

【請求項 11】

ネットワークを介して接続され、マルチメディアコンテンツを送信するUPnP-AVアーキテクチャに準拠したメタデータ管理装置と、前記マルチメディアコンテンツを受信するメタデータ利用装置とを備えることを特徴とするメタデータ管理利用システムであつて、

前記メタデータ管理装置は、

前記マルチメディアコンテンツの属性情報に対する編集が許可されているか否かを示す編集可能性情報の一覧を含む一覧情報を記憶手段から読み出す一覧読出手段と、

前記一覧読出手段により読み出された前記一覧情報を、前記ネットワークを介して前記メタデータ利用装置にCDS：Browseレスポンスとして送信する一覧出力手段とを備え、

前記メタデータ利用装置は、

DIDL_LITE形式で記述され、前記一覧出力手段により出力される前記一覧情報を、ネットワークを介してCDS：Browseリクエストを発行してCDS：Browseレスポンスとして前記一覧出力手段から取得する一覧取得手段を備える

ことを特徴とするメタデータ管理利用システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するために、本発明に係るメタデータ管理装置は、ネットワークを介してマルチメディアコンテンツを端末に提供するUPnP-AVアーキテクチャに準拠したメタデータ管理装置であって、前記マルチメディアコンテンツの属性情報に対する編集が許可されているか否かを示す編集可能性情報の一覧を含む一覧情報を記憶手段から読み出す一覧読出手段と、前記一覧読出手段により読み出された前記一覧情報を、前記ネットワークを介して前記端末にCDS：Browseレスポンスとして送信する一覧出力手段とを備える。

また、前記一覧読出手段は、前記マルチメディアコンテンツ一覧と、各当該マルチメディアコンテンツの属性情報と、各当該マルチメディアコンテンツの属性情報に対する前記編集可能性情報とを対応付けた情報を含むDIDL_LITE形式で記述された前記一覧情報を記憶手段から読み出す。

このように、本発明に係るメタデータ管理装置は、コンテンツ毎の付随情報（メタデータ）に各項目の編集の可否を示す項目を、外部または内部に備える記憶手段から取得し、その取得した情報を端末に送信する。これにより、編集の可否を項目ごとに管理することが可能となる。また、端末のユーザは、メタデータの管理者が編集を許可した範囲でメタデータの内容を変更することが可能となり、ユーザの利便性が向上する。

好ましくは、前記メタデータ管理装置は、さらに、前記端末から送信される、ユーザにより編集された属性情報をCDS：UpdateObjectリクエストとして受信する編集要求受信手段と、前記一覧読出手段により読み出された前記一覧情報のうち、前記編

集要求受信手段が受信した前記編集された属性情報に対応する前記編集可能性情報を参照することにより、受信した前記属性情報の編集の許否を判断する編集判断手段と、前記編集判断手段により編集が許可されていると判断された場合に、前記編集要求受信手段が受信した前記編集された属性情報に、対応する前記属性情報を更新するとともに、前記端末に編集の成功を CDS : Update Object レスポンスとして通知するメタデータ編集処理手段とを備える。

また、前記メタデータ編集処理手段は、さらに、前記編集判断手段により編集が禁止されていると判断された場合に、前記端末に編集の失敗を CDS : Update Object レスポンスとして通知する。

このように、端末から送信される編集後のメタデータを取得し、内容を更新するとともに更新が成功したか否かをユーザに通知するため、編集が許可されているメタデータに対してユーザが編集した内容を、記憶手段に反映させることができ、また、ユーザは編集した内容が記憶手段が記憶している属性情報に反映されたことを確認することができる。これにより、ユーザの利便性を向上させることが可能となる。

また、上記の目的を達成するために、本発明に係るメタデータ利用装置は、ネットワークを介してマルチメディアコンテンツをサーバから取得するメタデータ利用装置であって、DIDL_LITE 形式で記述され、前記マルチメディアコンテンツの属性情報に対する編集が許可されているか否かを示す編集可能性情報の一覧を、ネットワークを介して CDS : Browse リクエストを発行して CDS : Browse レスポンスとして取得する一覧取得手段を備える。

また、前記一覧取得手段は、前記マルチメディアコンテンツ一覧と、各当該マルチメディアコンテンツの属性情報と、各当該マルチメディアコンテンツの前記編集可能性情報とを対応付けた前記一覧情報を前記サーバから CDS : Browse リクエストを発行して CDS : Browse レスポンスとして取得し、前記メタデータ利用装置は、さらに、前記一覧取得手段により取得された前記一覧情報を参照することにより、編集が許可されている属性情報である編集可能属性情報を抽出する編集可能属性抽出手段を備える。

このように、コンテンツ毎の付随情報（メタデータ）の中に各項目の編集の可否を示す項目をサーバから取得する。これにより、端末を利用するユーザは、変更が許可されている項目を端末上で取得することが可能となる。